

はぐくみ

平成 28 年 7 月 29 日発行 No.80

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

「確かな学力」向上にむけて！～学力把握調査結果より～

本年度の県学力把握調査は、全国学力・学習状況調査日と同日を基本として実施されました。採点についても、ほとんどの学校が、県による採点・集計を利用しました。結果については、すでに各校で分析されていることと思えます。分析を通して、本調査の目的である

- ・ 節目の学年における児童生徒の学習の定着状況の実態を把握
- ・ 早い段階から学習内容の不十分な理解を解消するなど、きめ細かな指導に役立てる
- ・ 授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善

を進めていただきたいと思います。

【平成27年度】					【平成28年度】				
校種・学年・教科	平均正答数/設問数	県平均正答率	中央値	標準偏差	校種・学年・教科	平均正答数/設問数	県平均正答率	中央値	標準偏差
小・3・国語	18.6/23	80.7%	20	4.19	小・3・国語	18.5/23	80.5%	20	3.82
小・3・算数	17.0/21	80.8%	18	3.31	小・3・算数	16.1/21	76.6%	17	3.92
小・5・国語	16.6/23	72.4%	17	3.73	小・5・国語	15.6/23	67.9%	16	3.64
小・5・算数	18.0/23	78.5%	19	3.92	小・5・算数	16.9/23	73.6%	18	4.28
中・2・国語	15.9/23	69.3%	16.5	3.82	中・2・国語	16.6/23	72.0%	17	3.89
中・2・数学	19.0/30	63.4%	20	6.64	中・2・数学	18.2/30	60.8%	19	6.81
中・2・英語	24.0/33	72.7%	25	6.89	中・2・英語	22.2/33	67.2%	23	6.89

【H28 各教科における課題となる領域】

学年	教科	正答率が70%を下回っている領域、△は60%未満、▲は50%未満)
小 3	国 語	読むこと/記述式
小 5	国 語	話すこと・聞くこと/▲読むこと/選択式/▲記述式
中 2	国 語	▲読むこと/記述式
小 3	算 数	△量と測定/▲記述式
小 5	算 数	図形/選択式/△記述式
中 2	数 学	数と式/図形/△関数/△短答式/△記述式
中 2	英 語	△読むこと/△書くこと/言語材料/短答式/△記述式

支持的風土のある学級 ～授業改善のベースとなるもの～

不断の授業改善を進めるうえで、望ましい学級集団・学習集団づくりの重要性が強く求められております。
 【初等教育資料 2014/5 対談】の中で、杉田洋：文科省視学官（当時）、新富泰央：國學院大学教授、田中博之：早稲田大学教授は、「支持的風土のある学級」を次のように紹介しております。

<学級経営の現状と課題>

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 個と集団の関係がバラバラ
 ← 個人主義的な風潮が反映 ▶ 安心できる学級づくりに向けた、教師の指導力の差 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 教え合い、学び合いがうまくいっていない ▶ 学校全体で、バラバラな学級経営 |
|--|--|

<支持的風土>

- ▶ 個が生きるような風土（個が阻害されたり、攻撃されたりするような防衛的風土の逆）
- ▶ 子どもたちにとって、明日への希望が持てるような風土
- ▶ よりよい仲間がいて、自分のがんばりたいことが実現でき、自己有用感を味わえるような風土

学級づくり = 担任まかせ



学校全体で取り組む時代

◆◇初任者研修授業研修会◆◇

第2回の初任者研修授業研修会が、6月24日（金）、塩山中学校、八代小学校において行われました。

塩山中学校では、初回の研究会におきましても、開講式のあと共同絵画のSGE（構成的グループ・エンカウンター）の様子を参観させて頂きましたが、今回も、教科の授業研修会のあと、学年の先生方が担当を替えて行う「グルグル・エンカウンター」の様子も参観させていただきました。

佐々木梢教諭による第3学年国語科「友達インタビューをして相手の思い・考えを聞き出そう」の示範授業では、これまでの学習の中で計画してきたことを基に、質問内容を工夫して、ねらいをもってインタビューすることにより、相手の思いや考えを聞き出していこうとする内容でした。3人グループに分かれ、一人一人がインタビューする役、される役、記録する役となり、実際にインタビューが行われていきました。3つの役を交替しながら行い、すべての生徒が3つすべての役割を果たしていました。一つの教室の中ですべての生徒が活動するのですが、声の大きさなど、それぞれが気を回しながら、落ち着いた様子の中で進められていました。

研究協議では、それぞれが授業で気づいた点を付箋に記入し、座標軸が書かれた模造紙に貼りながら、授業の振り返りを行いました。短い時間でしたが、すべての初任者が発言することができました。また、一緒に参加された塩山中学校の国語科の先生方からもいろいろな意見が出され、充実した研究協議となりました。塩山中学校の先生方ありがとうございました。

八代小学校においての今回の授業研修会は、三枝直美教諭による第3学年国語科「俳句を楽しもう」の示範授業を参観させていただき、その授業を基に研究協議を行いました。

授業は、俳句は五・七・五のリズムでできていること、必ず季語が入っていることを確認した後で、小林一茶の「雪とけて 村いっばいの（こども）かな」の俳句を（ ）の部分の隠して提示し、俳句の様子から（ ）に入る言葉を子どもたちに考えさせていきました。子どもたちは、まず自分自身で考えをもち、そして、ペアや全体に話し合いを広げる中で、残された言葉から発想豊かに季節や情景を想像していました。

研究協議では、初任者の先生方から児童の学習の様子について、また、教師の教材提示の工夫や思考を育てる問いの用い方、全体での学び合いの方法についてなど、先輩教師の指導の工夫について、的を射た意見が次々に出され充実した協議となりました。初任の先生方が頼もしく思え、今後の授業研修会が楽しみになりました。八代小学校の先生方、本当にありがとうございました。



◇◆教育課程研究協議会の還流を!!◆◇

夏季休業に入り、各学校とも先生方が研修会、研究会に参加されることが多いと思います。受講した内容等につきましては、校内研究会等の中で伝達講習の時間を確保していただき、**職場での還流**をしていただきたいと思います。

特に、8月2日～4日に県内各会場で行われます「平成28年度教育課程研究協議会」につきましては**校内伝達を必ず実施**していただけますよう、研究主任を中心に計画をお願いいたします。

◆◇平成28年度教科書展示会◆◇

平成28年度教科用図書展示会が、6/17（金）～7/6（水）までの14日間、東山梨教科書センター（東山梨合同庁舎内）と笛吹教科書センター（笛吹市役所市民窓口館内）において行われました。期間中、管内の小中学校・県立学校の教職員、一般の方も含め628名の方々に閲覧していただきました。

◇◆指導主事学校訪問要請◆◇

<9月の指導主事学校訪問要請について（お願い）>

9月分の指導主事学校訪問要請提出は8月第1週が締め切りです。1学期、期日に間に合わない要請が何校もありました。研究主任の先生方、期日までによりしく願います。

なお、10月分は、8月第5週（9月第1週）が締め切りとなります。ご注意ください。